

## 第2回施設整備委員会資料の修正について

1 第2回施設整備委員会における「前回協議内容の整理について」の資料を一部修正した。

○図表-1 ハイブリッド方式の実績年数について処理の内訳と系列数等を追記する。

○図表-2 煙突高さに対する地形図の表記を見直す。

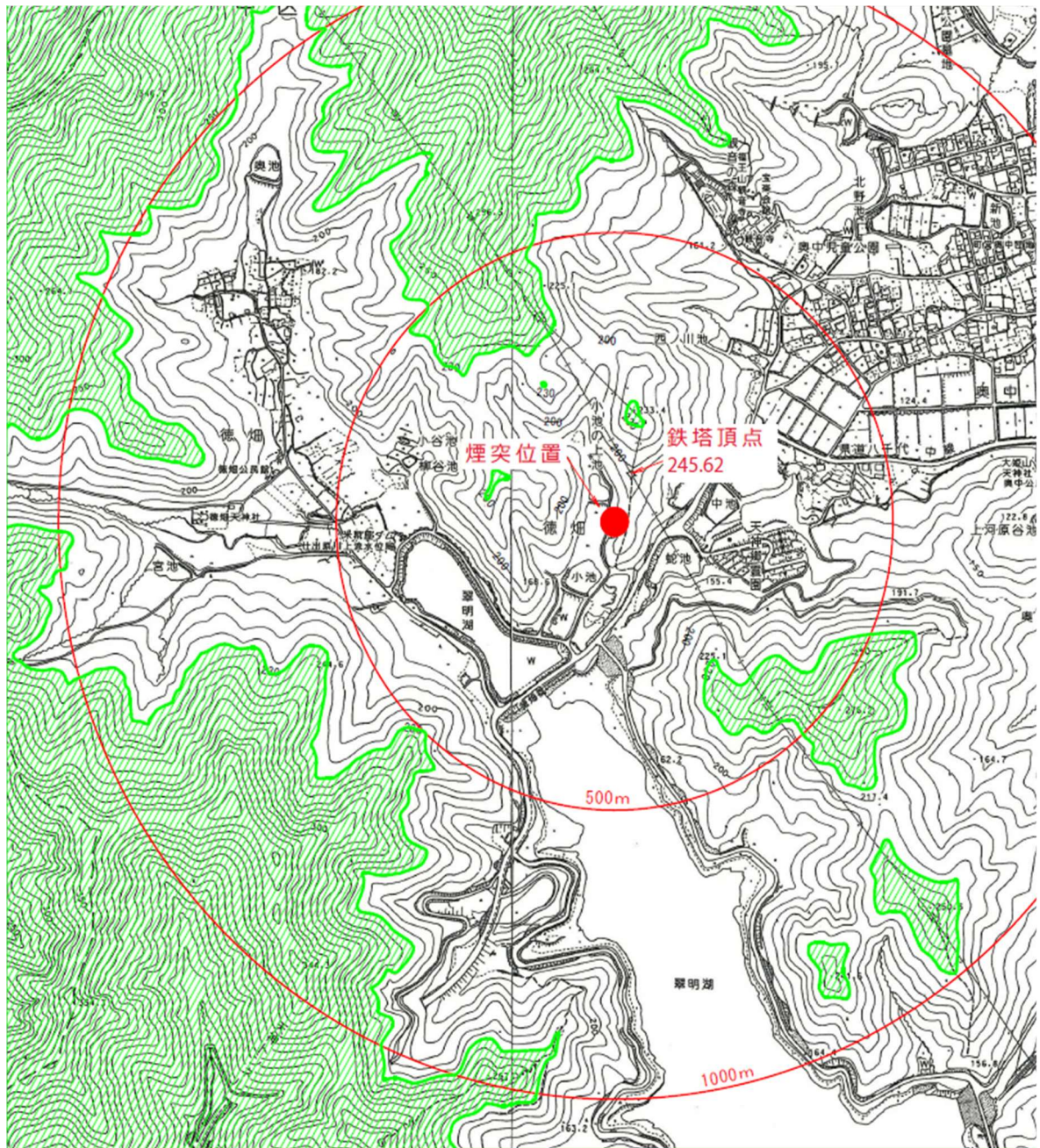
図表-1 にハイブリッド方式の実績より処理の内訳と系列数等を示す。

図表-1 ハイブリッド方式の実績

所在地	施設名	稼働 開始年	処理能力 (炉数・槽数・ 系列数・基数)	対象バイオマス	
				一般廃棄物	産業 廃棄物
兵庫県 朝来市	南但ごみ処理施設 (南但クリーン センター)	平成25 (2013)年 9月	焼却43 t /日 (1炉) バイオ36 t /日 (1炉)	可燃ごみ (紙類)	—
山口県 防府市	防府市クリーン センター	平成26 (2014)年 4月	焼却150 t /日 (75 t /日×2炉) バイオ51.5 t /日 (25.75 t /日×2槽)	可燃ごみ (34.4t/日) し尿汚泥 (汚泥17.1t/日)	下水汚泥
京都府 京都市	南部クリーン センター第2工場	令和元 (2019)年 9月	焼却500 t /日 (250 t /日×2炉) バイオ60 t /日 (30 t /日×2系列)	可燃ごみ (食品廃棄物、 紙ごみ)	—
京都府 宮津市	宮津与謝クリーンセ ンター	令和2 (2020)年 7月	焼却30 t /日 (30 t /日×1炉) バイオ20.6 t /日 (20.6 t /日×1炉)	燃やすごみ (燃えにくいご み)	—
鹿児島県 鹿児島市	新南部清掃工場 (ごみ焼却施設・バ イオガス施設)	令和3 (2021)年	焼却220 t /日 (110 t /日×2炉) バイオ60 t /日 (30 t /日×2基)	可燃ごみ (食品廃棄物、 紙ごみ) 脱水汚泥	—
東京都 町田市	バイオガス化施設	令和3 (2021)年	焼却258 t /日 (129 t /日×2炉) バイオ50 t /日 (25 t /日×2系列)	生ごみ等	—

出典) 環境省 HP メタンガス化施設の導入事例等 (計 42 施設) よりハイブリット方式 (同一施設内におけるバイオガス施設とごみ焼却施設) 抜粋及び最新事例を追記

図表-2 に煙突高さ約 230m以上を緑色で示した地形図を示す。



図表-2 煙突高さに対する地形図

(図中の斜線部は 230m以上の山間部)